



## 露地ブドウ栽培でのべと病、灰色かび病、褐斑病、 晩腐病などの防除を励行してください

昨年は梅雨期間が比較的に短く、数度の台風が接近して通過しましたが大きな被害もなく、生育期を通して天候が比較的に安定して、県病害虫防除所の病害虫発生予報によると、べと病、灰色かび病、晩腐病、褐斑病ともに平年並の発生で推移しました。

例年、6月になると関東地方も梅雨期に入りますが、今年は5月から走り梅雨の傾向が現れ、各種病害の発生には十分に注意が必要です。気象1か月予報（5月12日発表）によると、「天気は数日の周期で変わるでしょう」とされ、気温の低い確率、降水量の多い確率、日照時間の少ない確率ともに40%と予測されて、病害の発生をやや助長する気象条件と考えられます。

このため、ブドウべと病、灰色かび病、晩腐病、褐斑病など各種病害の発生に注意を怠ると、大きな被害につながる可能性がありますので、今後とも園内の観察を注意深く行い、参考防除例に基づく防除を励行するとともに、発生を確認したら必要に応じて追加防除を実施してください。なお、近年は生育後半になっても、べと病や褐斑病の多発生する園が散見されたり、また、晩腐病もこれから長い感染や発病期間に入りますので、常に防除の励行が必要となります。

### <防除のポイント>

- 1 雨よけ栽培は、べと病、灰色かび病、褐斑病、晩腐病などの発病を抑制しますので、積極的に導入しましょう。また、晩腐病に対して傘かけや袋かけは、高い防除効果が認められています。
- 2 発生の早期発見に努め、発病葉や果房等は早急に除去し、園内に放置せず、土中に埋めるなど適切に処分します。
- 3 誘引などの管理作業により、園内の風通しや棚面の明るさを十分に保つように努めてください。
- 4 前年に多発した園では、令和4年版「露地巨峰病害虫参考防除例」や下記の防除薬剤を参考に、袋かけまでは散布間隔が10日以上空かないように薬剤散布を行います。
- 5 薬剤散布の次回予定日に降雨が予想されている場合は、散布を延期せずに、降雨前に散布するよう努めてください。また、散布後に連続的な降雨や強い降雨があった場合は、状況に応じて散布間隔を短くすることも大切です。
- 6 薬剤散布量は10aあたり250ℓを目安に、丁寧に散布してください。圃場の周辺部など薬液のかかりにくい場所には、手散布などにより補正散布を行ってください。
- 7 薬剤によっては、幼果期以降の薬剤散布で、果粉溶脱や果実の汚れが生じる恐れがありますので、農薬のラベルに書かれた使用上の注意事項をよく確認してください。また、収穫前日数には十分注意してください。

表1 ブドウべと病、灰色かび病、褐斑病、晩腐病の主な防除薬剤 (令和4年5月16日現在)

対象病害				薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
べと病	灰色かび病	褐斑病	晩腐病				
○	○	○	○	オーソサイド水和剤 80	800倍	収穫30日前まで / 3回以内	M4
○		○	○	ペンコゼブ水和剤 ジマンダイセン水和剤	1,000倍	収穫45日前まで / 2回以内	M3
○	○			アリエッティC水和剤	400~800倍 800倍	収穫30日前まで / 3回以内	P7とM4
			○		400~600倍		
○				ランマンフロアブル	1,000~2,000倍	収穫14日前まで / 3回以内	21
○				レーバスフロアブル	2,000~3,000倍	収穫7日前まで / 3回以内	40
○				リドミルゴールドMZ	1,000倍	収穫45日前まで / 2回以内	4とM3
○				ホライズンドライフロアブル	2,500~5,000倍 2,500倍	収穫21日前まで / 3回以内	11と27
○		○	○	ベトファイター顆粒水和剤	2,000~3,000倍	収穫30日前まで / 3回以内	27と40
	○			ポリベリン水和剤	750~1,500倍 750~1,000倍	収穫60日前まで / 2回以内	19とM7
	○	○	○	フルピカフロアブル	2,000~3,000倍	収穫30日前まで / 2回以内	9
	○	○	○	オンリーワンフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	3
	○		○	スイッチ顆粒水和剤	2,000~3,000倍	収穫30日前まで / 2回以内	9と12
	○			パスワード顆粒水和剤	1,000~1,500倍	収穫14日前まで / 2回以内	17
	○			ゲッター水和剤	1,000~1,500倍	収穫45日前まで / 1回	1と10
○				ICボルドー48Q	25~50倍	- / -	M1

注1) 分類欄には、FRACコードを記載しました(コードが2つは混合剤)。同一分類(コード)は作用点が同じなので、連用は避けてください。

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 NEWS は JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。